

## 「2019 浙江大学スプリングスクール参加報告書」

京都大学法学部2年 山之内美樹

## ①学習成果

私は第二外国語で中国語を履修していましたが、中国語を勉強したと胸を張って言うことのできるレベルには全く達していませんでした。だから、実際に中国に行き、肌で中国語を感じることで中国語の勉強に対する意欲や語学力を向上させたいと思いこのプログラムに参加しました。浙江大学での授業は、中国語で中国語を学ぶという形式のものでした。最初の授業では、他国から長期で留学に来ている学生のレベルの高さや、先生の話す中国語のスピードに驚き、全くついていくことができずに時間だけが過ぎていきました。しかし、ここで怯んでいては参加した意味がないと思い、自分からクラスメイトに話しかけて中国語を使う機会を増やしたり、なんとか聞き取ろうとしたりすることで少しずつではありますが、授業の内容が理解できるようになっていきました。リスニング力はかなり上がったのではないかなと思います。

## ②海外での経験

大学ではレベル別にクラス分けがなされるのですが、クラスメイトとは授業における交流だけでなく、昼食を食べに行ったり、部屋に遊びに行ってお話をしたりと、様々な場面で交流することができました。また、授業やプログラムの活動がない時間は、友達と近くのお店に行ったり、観光地を訪問したりしました。そこでは大学内とは異なり、英語は通じず、中国語しか使えないという場面も多々ありました。自分の考えを上手く伝えることのできない歯がゆさを感じることもありましたが、一方で、伝えることのできたときの喜びも感じることもでき、とても良い経験になりました。

## ③プログラム内容

大まかに言うと、午前が中国語の授業、午後は施設や観光地の訪問・見学または自由行動という形でした。休日は1日自由行動でした。授業はスピーキング、リスニング、リーディングに分かれており、1日2コマの時間割でした。

杭州周辺の博物館や企業の訪問・見学では、杭州の歴史や文化を学ぶことが出来ました。また、現代の中国についての講演を聞く機会や、浙江大学の学生とプレゼンテーション形式でお互いの文化や生活を発表しあう交流会もあり、中国文化や現地の生活を深く知る良い機会になりました。

## ④進路への影響について

今回のプログラムが私にとって初めての海外でしたが、帰国した今強く思うのは、実際に自分の足で訪れ自分の目で見ることの大事さです。実際に訪問することで、その国の印象は大きく変わることもあります。このプログラムは2週間という短い期間でしたが、非常に貴重な体験をすることが出来ました。今回の経験で得た仲間や価値観を大切に、より深く、中国語や中国文化・社会について学習していきたいと思っています。